

埼玉県地球温暖化対策実行計画の改正

地球温暖化の影響の顕在化・深刻化

→国では2050年カーボンニュートラルの実現に向けて…

地球温暖化対策推進法 改正 (R3.5)

地球温暖化対策計画 改定 (R3.10)

→本県でも地球温暖化対策の取組を更に進めるため…

埼玉県地球温暖化対策実行計画 改正

目指すべき将来像 (実現時期:2050年)

カーボンニュートラル宣言

カーボンニュートラルが実現し、気候変動に適応した持続可能な埼玉

温室効果ガス削減目標 (2030年度)

改正計画推進に向けた4つの方向性

2013年度比較

(温室効果ガス排出量4,697万t-CO₂)

現行計画

26%削減








改正計画


46%削減

(温室効果ガス排出量2,530万t-CO₂)

- ① 行政、企業、県民がワンチーム埼玉で対策を実施
- ② 再エネ導入、デジタル技術によるエネルギーの効率的利用
- ③ 持続可能なまちづくりやサーキュラーエコノミーへの移行
- ④ 気候変動への適応策の推進と理解の深化

温室効果ガス削減に向けた対策


部門・分野	主な施策
①産業・業務 	・サーキュラーエコノミー（循環経済）の取組支援 ・目標設定型排出量取引制度の推進
②家庭 	・脱炭素社会の実現に向けたライフスタイルへの転換
③運輸 	・EV・PHVの普及推進
④廃棄物等 	・プラスチック資源の循環的利用の推進
⑤吸収源 	・適正な森林の整備・保全の推進
⑥部門横断 	・「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進による持続可能なまちづくり
⑦エネルギー 	・住宅における太陽光発電の普及促進

 家庭の省エネ相談会



 EV・PHV購入補助金



 省エネ・再エネ活用設備の導入促進



埼玉県の児童虐待対策

児童虐待相談対応件数 **17,606** 件(令和3年度) 10年間で **3.6** 倍の増

虐待通報窓口の整備・普及

- ・ SNS相談（親と子どもの悩みごと相談@埼玉）
- ・ 児童相談所虐待対応ダイヤル（189）
- ・ 埼玉県虐待通報ダイヤル（#7171）

警察との連携

児童相談所と警察署間でリアルタイムに全ての児童虐待事案を情報共有

市町村への支援

児童相談所OB職員を市町村へ派遣
相談援助技術の向上を支援

民間との協働

児童相談所

リスクが低いと判断した通告

依頼

より危険性が高い案件に注力

3か所の児童相談所で運用中

民間団体

家庭訪問による安全確認

拡充

全児童相談所で運用
(令和5年10月)

児童相談所の体制強化

- ・ 令和5年度児童相談所職員 **47** 人増（計577人）
- ・ 新たな児童相談所（一時保護所）の整備

児童相談所の体制強化

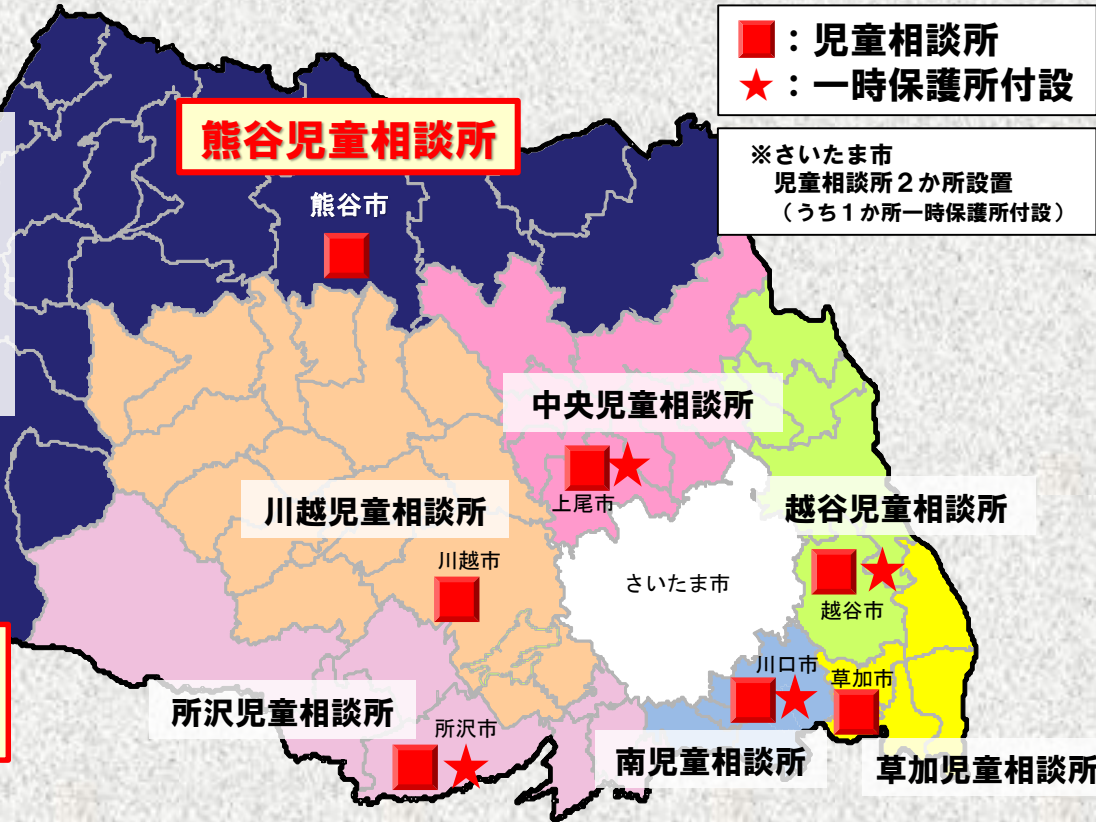
児童相談所（一時保護所）設置状況

◆ 県 児童相談所一時保護所入所率

98.6%（令和3年度）

◆ 県北部地域に一時保護所が無い

熊谷児童相談所の新庁舎を整備
新たに一時保護所を設置する



熊谷児童相談所 新庁舎の整備

施設概要

- ・ 地上3階建て
- ・ 延床面積 約3,940㎡
- ・ 一時保護所 定員30人

整備内容・効果

- ・ 一時保護所 **県北部地域初**
- ・ 職員の移動負担の軽減
- ・ 入所児童の居室を個室化



熊谷児童相談所 新庁舎の特徴

児童相談所



研修室



事務室



児童の部屋(個室)



学習室

一時保護所 (令和5年度開設)



リビング



個別学習室



食堂



遊戯室

更なる児童相談所の体制強化へ 朝霞児童相談所（仮称）の整備

朝霞市内に8番目の児童相談所を整備 令和 **7** 年度開所予定

施設概要

- ・ 地上2階建て
- ・ 延床面積 約4,000㎡
- ・ 一時保護所 定員30人

整備効果

- ・ 児童相談所管轄人口の平準化
- ・ より迅速かつきめ細やかな対応
- ・ 一時保護所の定員増



朝霞児童相談所(仮称)外観イメージ